

「岩国市地域福祉計画」とは？

地域福祉計画の必要性

「地域福祉」とは、年齢や障害の有無などに関係なく、地域住民、団体などが主体となり、共に支え合って地域における社会福祉を推進していく取り組みのことです。

「地域福祉計画」は、地域住民一人一人が自立し、地域で安心して生活するために必要な計画です。

目的と位置付け

この計画は、住民一人一人が地域の様々な活動に積極的に参加するための環境づくりや、地域福祉に取り組む団体が意欲的に活動していくための環境を整備することにより、岩国市全域で地域福祉を推進していくことを目的とします。

また、この計画は、社会福祉法第107条に基づき策定する市町村地域福祉計画です。

計画期間

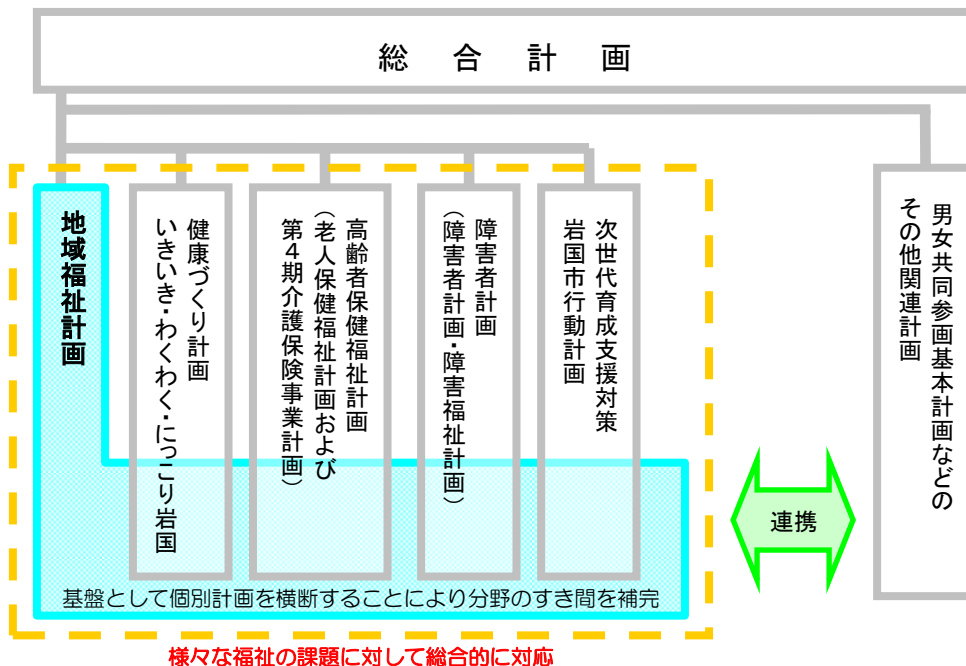
平成22年(2010)年度～平成26(2014)年度

岩国市総合計画及び各個別計画との関係

地域福祉計画は、下図のとおり、岩国市総合計画の部門計画として、それぞれの基本目標の実現に向けた計画としています。

また、地域福祉計画を各個別の福祉計画の基盤として横断的に位置づけることにより、地域住民や団体などが取り組む地域福祉と、行政が取り組む福祉サービスを組み合わせ、様々な課題に対して総合的に対応していきます。

地域福祉計画と各個別計画との関係



策定経緯

平成20(2008)年10月28日(火)	第1回素案策定委員会
平成21(2009)年 2月18日(水)	連絡会
5月20日(火)	第2回素案策定委員会
8月18日(火)	第3回素案策定委員会
9月30日(水)	第4回素案策定委員会
11月 2日(月)~11月23日(月)	パブリックコメント実施
11月30日(月)	第5回素案策定委員会
12月24日(木)	福祉環境市民会議(諮問)
平成22(2010)年 2月 4日(木)	福祉環境市民会議(答申)

基本理念及び基本目標

基本理念

だれもが住み慣れた地域で 生き生きと暮らせる社会づくり

年齢や障害の有無など関係なく、すべての市民が地域で安心、安全に生活するためには、その基礎として、住民一人一人が地域福祉に協力し、助け合う体制ができていることが求められます。隣近所や地域において助け合いが進むことは、福祉によるまちづくりの活性化につながります。

岩国市は、すべての住民が住み慣れた地域でいつまでも生活していきたいと思えるよう、地域福祉の側面から「だれもが住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会」の実現を目指します。

基本理念を実現していくため、地域福祉座談会及び地域福祉アンケートの意見を踏まえて、三つの基本目標を設定しました。

基本目標 1 地域福祉を推進するための基盤の整備

市民一人一人に対する地域福祉の必要性の認識

座談会での意見

- ・近所とのつながりが薄れてきた。
- ・集合住宅ができて、新しく入ってきた人とのコミュニケーションが課題。
- ・近所で一人暮らし高齢者が増えている。



アンケート結果

- ・近所に困りごとを相談できる人がいない……………39.7%
- ・近所で助け合える親しい人がいる……………24.0%
- ・地域で生活するためにあればいいと思う地域での手助け
 - 話し相手……………31.3%
 - 安否確認の声かけ……………35.4%

基本目標 2 地域福祉を推進するための地域資源の開拓

地域環境の整備

座談会での意見

- ・空き家を利用することができればいい。
- ・サロン活動をする場所の確保が難しい。
- ・地域の文化伝承を学校と協力して取り組んでいる。
- ・地域で子育てできるよう、子どもを持つ世代とのかかわりが必要。
- ・地域の担い手が高齢で将来が心配。人材の育成が重要。



アンケート結果

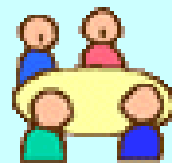
- ・参加してみたい地域活動
 - 趣味などのサークルやクラブ活動……………26.9%
 - 健康づくり活動……………19.6%
 - 清掃などの環境美化活動……………17.1%

基本目標 3 地域福祉の推進に取り組む団体への支援

地域福祉に取り組む団体の活動力の低下

座談会での意見

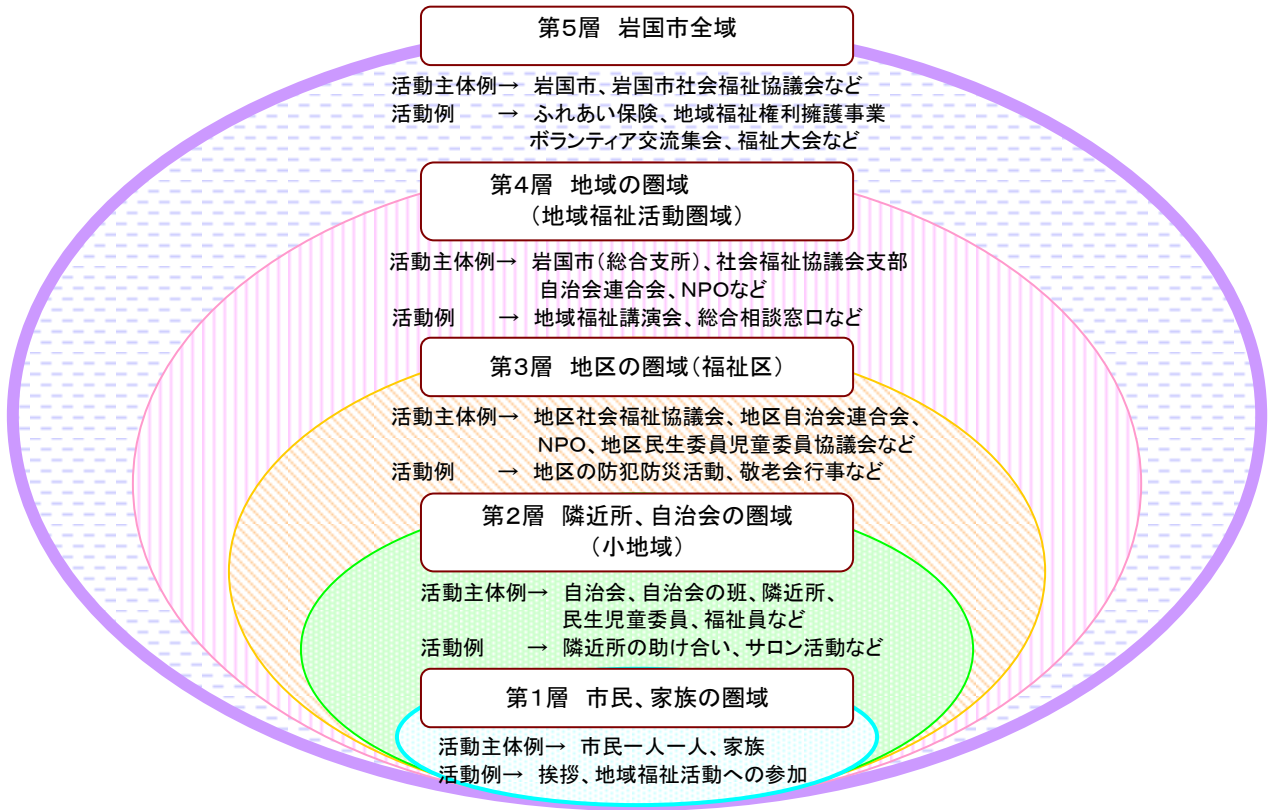
- ・自治会に加入しない人が多い。・地域団体の活動が低下している。
- ・活動経費がかかり、地域の負担が増えている。
- ・サロン活動は元気な高齢者をつくる場である。
- ・民生委員児童委員、自治会及び福祉員との連携が必要。
- ・NPO 法人が地域のために活動している。



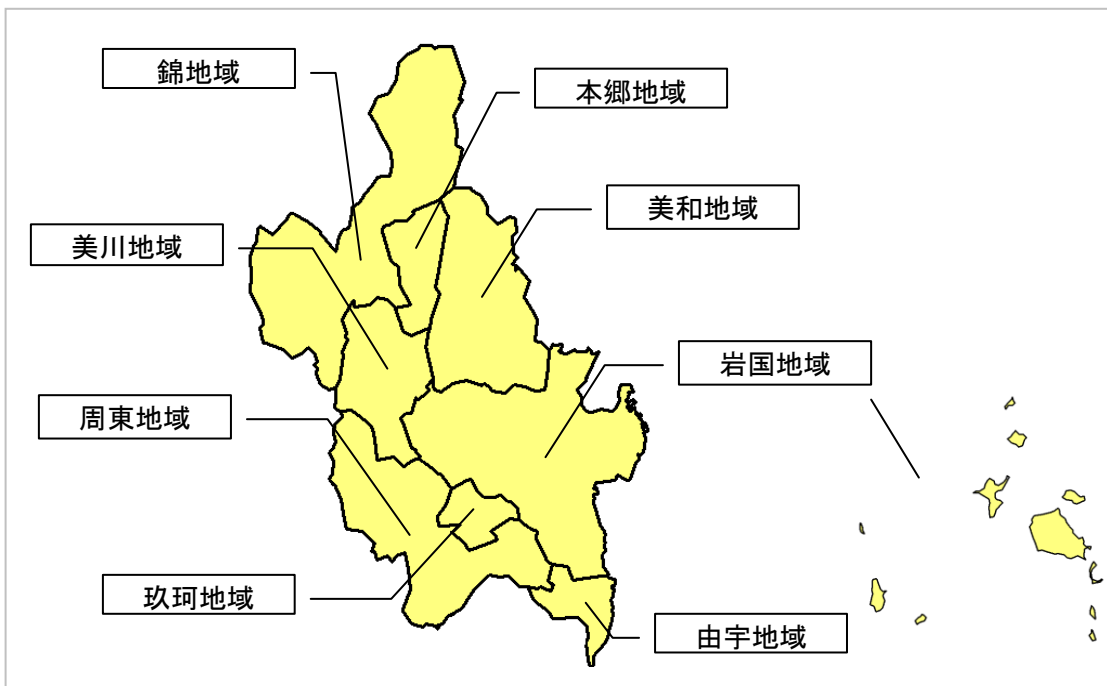
アンケート結果

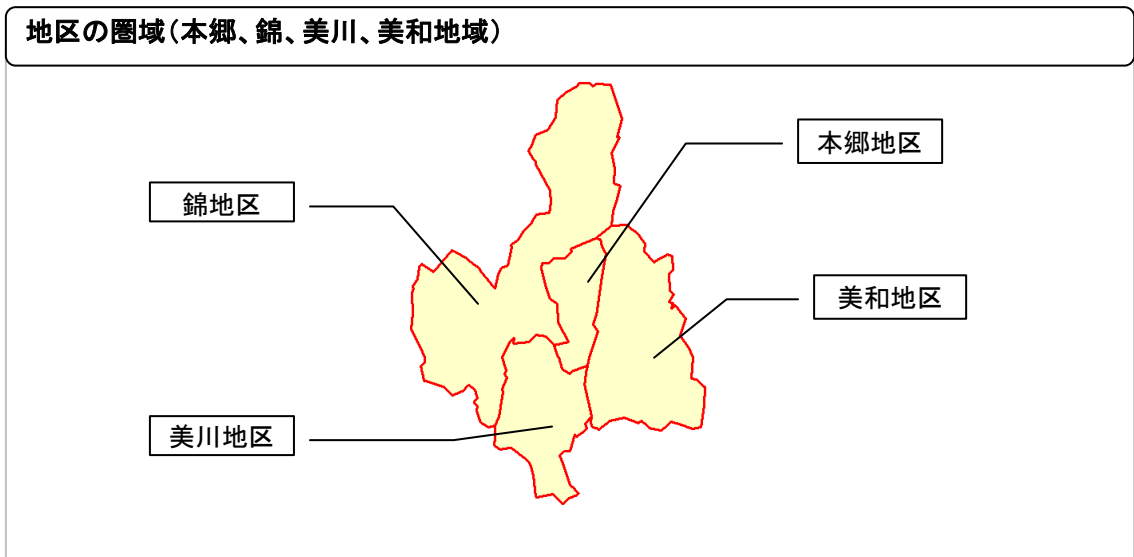
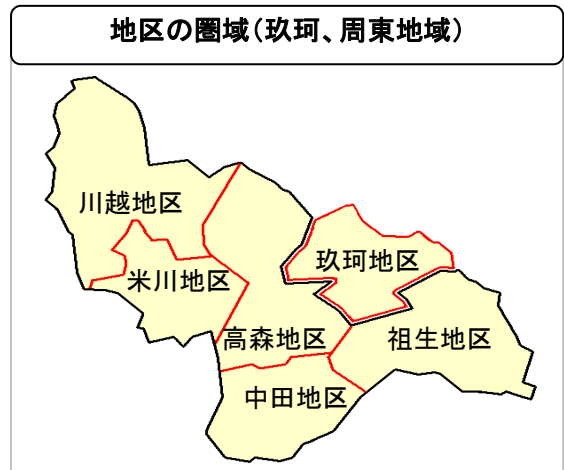
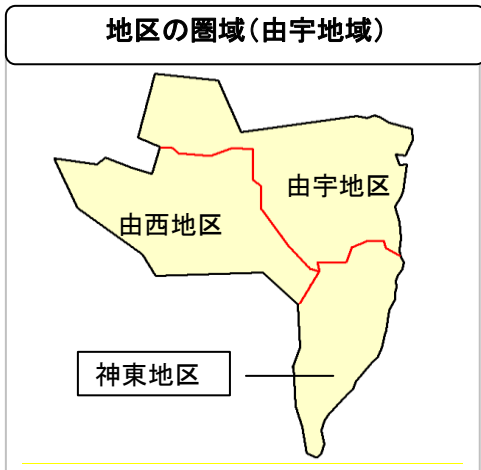
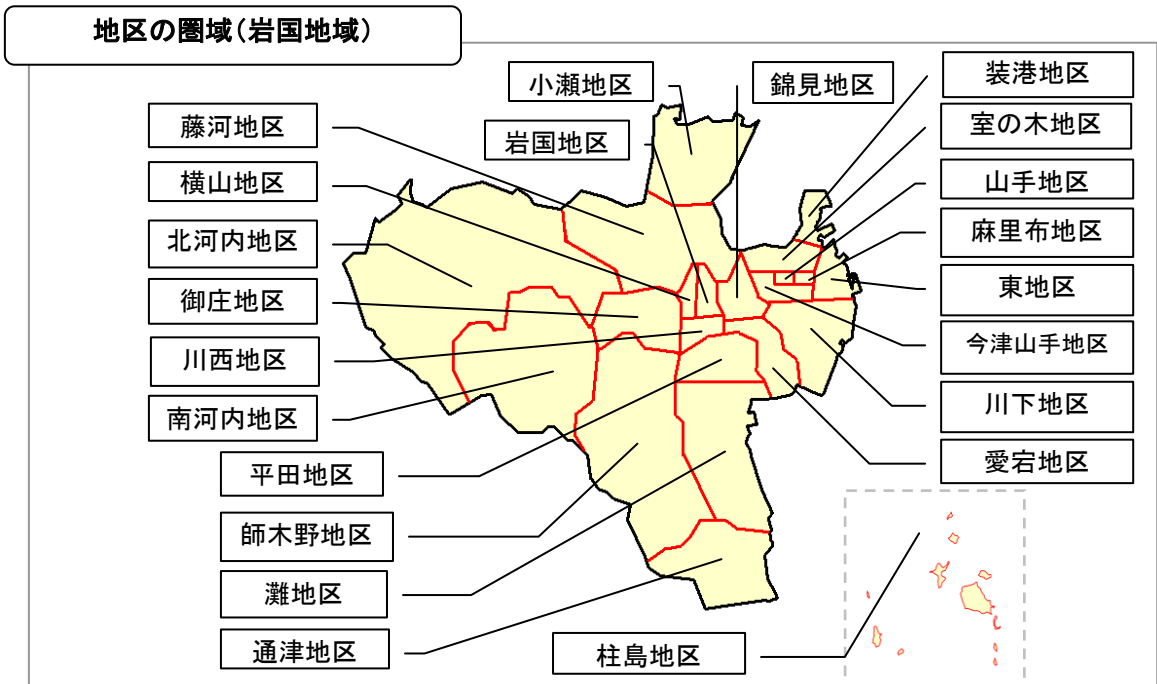
- ・地域の活動に参加していない……………22.6%
- ・地域で安心して生活するために重要と思う行政の施策
 - 地域活動、ボランティア活動を資金面で支援……………19.2%

岩国市における地域福祉圏域（イメージ）



地域の圏域





地域福祉を推進するための課題と対応

基本理念	基本目標	課題	住民一人一人が心掛けること、又は取り組むこと
だれもが住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会づくり	1 地域福祉を推進するための基盤の整備	1 隣近所の住民とのコミュニケーションの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつを心掛けましょう。 ○積極的なコミュニケーションを取ってみましょう。 ○隣近所の住民との付き合いを大切にして、つながりを深めましょう。
		2 住民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の一員として、自分ができることについて考えてみましょう。 ○地域活動に気軽な気持ちで参加してみましょう。 ○家族や隣近所の住民を地域活動に誘ってみましょう。
		3 地域での「助け合い」の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○日ごろから隣近所の人の状況を把握しておくよう努めましょう。 ○いざというときのため、自分のことも地域の人には話しておきましょう。 ○困ったことがあれば、一人で悩まずに隣近所の人や地域の団体を頼ってみましょう。 ○困っている人がいれば、積極的に助けてあげましょう。また、状況によっては地域の団体や行政機関に伝えましょう。
		4 地域の見守りの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○日ごろから隣近所の状況に異変がないか、意識しておきましょう。 ○安否確認や声かけをしてみましょう。 ○地域の見守り活動に参加してみましょう。また、見守りの対象となる住民は、地域の見守り活動に協力しましょう。 ○一人暮らし高齢者などを対象に岩国市が進めている緊急通報システム装置を設置してみましょう。
		5 相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○専門的な相談窓口を確認しておきましょう。 ○地域で相談できる人を見つけておきましょう。
		6 福祉に関する情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○掲示板や回覧板、広報紙などに目を通し、情報の把握に努めましょう。 ○岩国市ホームページや岩国市地域福祉情報ネットワーク「i-area」、岩国市社会福祉協議会などのホームページを活用してみましょう。
		7 地域の情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で必要な情報を共有することについて、理解に努めましょう。
		8 寄附文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○寄附を通じた社会貢献について理解を深めましょう。 ○共同募金などの募金に協力しましょう。
		9 福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉体験や福祉に関する市民活動講座、イカルスなどに積極的に参加してみましょう。 ○広報紙や新聞にある福祉情報に目を通してみましょう。
		10 権利擁護事業、成年後見制度の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ○岩国市や岩国市社会福祉協議会のホームページなどを通して、制度内容の理解を深めましょう。
		11 ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインやバリアフリーに関する研修会などに参加してみましょう。 ○日常生活においても、ユニバーサルデザインやバリアフリーを反映してみましょう。 ○困っている人がいたら手伝ってあげるなど、人を思いやる気持ちを持ちましょう。
		12 災害時要援護者の支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ○隣近所で要援護が必要な人について、日ごろから把握しましょう。 ○避難時に特別な配慮が必要な人は、事前に地域の人に伝えておきましょう。 ○災害時要援護者の登録対象者は、趣旨を理解のうえ登録しましょう。 ○「岩国市防災メール」に事前に登録しておきましょう。 ○地域で取り組む防災訓練などに積極的に参加しましょう。

地域全体で取り組むこと	行政が取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> ○地域のコミュニケーションづくりを目的に行事を実施してみましょう。 ○会合などにおいて参加者の意見を尊重し、何でも話し合える雰囲気づくりに努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域コミュニティ」をテーマにした講演会や講座を実施します。 ○地域でのコミュニティの重要性について、パンフレットなどの配布により啓発を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域で参加促進の啓発を行いましょう。 ○地域のコミュニケーションづくりを目的に行事を実施してみましょう。 ○地域の団体、事業所などに協力をお願いし、一緒に活動しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉への理解を目的とした講演会を実施します。 ○ワークライフバランス（仕事と私生活の調和）を推進し、若い世代が地域活動に参加しやすい環境づくりに取り組みます。 ○小規模・高齢化集落などでは、ボランティアを活用した地域活動の推進に取り組みます。
<ul style="list-style-type: none"> ○「助け合いマップ」を作成するなど、地域の状況把握に努めましょう。 ○民生委員・児童委員、福祉員など相談できる人の周知に取り組みましょう。 ○地域で取り組むことが適切な課題は、地域全体で課題を共有し、協力して取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岩国市全体の課題について、常に状況把握に努めます。 ○身近な場所での相談体制の充実を図ります。 ○「助け合い」の重要性について、講演会や講座を実施します。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域で見守りが必要な家を把握しておきましょう。 ○見守りが必要な家を定期的に訪問してみましょう。 ○地域の防犯教室を開催してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の見守りに関する講演会や講座を実施します。 ○緊急通報システム装置の設置の推進に取り組みます。 ○高齢者への訪問活動事業を促進します。
<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員・児童委員、福祉員など地域で相談できる窓口の周知を図りましょう。 ○地域住民の相談に対して、地域全体で取り組むための推進体制を整備しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談機関や地域の相談窓口の周知を図ります。 ○市民が身近なところで相談できる体制の整備を図ります。 ○複雑化した問題に対して、相談機関で連携を図っていけるよう連携強化を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ○掲示板や回覧板を活用してみましょう。 ○岩国市地域福祉情報ネットワーク「i-area」は、いつでも地域の情報を発信することができます。積極的に利用してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉制度の情報を「広報いわくに」や地域の回覧板など様々な媒体を活用して発信し、より一層の充実に努めます。 ○「i-area」や「ふれあいeタウンいわくに」などのホームページの普及強化を図ります。 ○地域福祉を推進する団体が「i-area」を利活用できるよう支援を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民に対し、必要な情報を共有することについて趣旨と必要性を説明し、理解に努めましょう。 ○会合などで地域の公益につながる情報は積極的に提供し、情報の共有に努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の団体と連携して、情報を共有していくことの必要性について啓発に取り組みます。 ○個人情報に関する法律を遵守しながら地域で必要な情報について共有していくためのハンドブックを作成します。
<ul style="list-style-type: none"> ○共同募金などの募金について、地域全体で協力しましょう。 ○寄附の必要性について、地域全体で考えてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○寄附についての理解を深めるための啓発を行います。 ○共同募金などの募金活動について、協力を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを対象にした福祉体験を実施してみましょう。 ○福祉に関するイカルスを利用してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育などを通じた福祉教育の推進を図ります。 ○福祉に関する市民活動講座やイカルスの実施を促進します。 ○社会福祉制度の情報を「広報いわくに」や地域の回覧板など様々な媒体を活用して発信し、より一層の充実に努めます。
<ul style="list-style-type: none"> ○サロンなど高齢者が集まる場所で、制度について情報を提供してみましょう。 ○制度利用が必要と思われる人について、行政機関に報告しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報紙や相談支援の場などで、制度の普及啓発を図ります。 ○親族からの成年後見申立ての支援や、申立てする親族がいない場合などの市長申立てを行います。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域で不備な箇所などについて把握し、検証してみましょう。 ○改善が必要な箇所について、関係機関に連絡していきましょう。 ○地域全体で、心のバリアフリーを心掛けましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設などにおいて、点字ブロックや段差解消などの整備を行います。 ○民間施設の指導、啓発を行います。 ○障害のある人が地域生活の移行が円滑に進むよう、市民の障害に対する正しい理解を促進します。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域で自主防災組織を立ち上げましょう。 ○地域で要支援や特別な配慮が必要な人について、日ごろから把握しておきましょう。 ○地域で定期的に防災訓練などを実施しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岩国市全域で自主防災組織の設置を支援します。 ○災害時要援護者の登録を進めていきます。 ○「岩国市防災メール」の登録者数を増やします。 ○岩国市社会福祉協議会が取り組む災害ボランティアの登録を支援します。

基本理念	基本目標	課題	住民一人一人が心掛けること、 又は取り組むこと
だれもが住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会づくり	2 地域福祉を推進するための地域資源の開拓	1 地域福祉の担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉をテーマとした講演会に参加してみましょう。 ○一人一人が持っている知識や技術を地域活動に生かしてみましょう。 ○地域活動に参加し、担い手の意見を尊重しましょう。 ○一人一人が担い手の負担を軽くできるよう手伝いましょう。
		2 高齢者や定年退職者の社会参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくりや生きがい活動に参加してみましょう。 ○隣近所の高齢者や定年退職者を地域活動に誘ってみましょう。
		3 ボランティアへの参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動講座などに参加し、ボランティアに対する理解を深めてみましょう。 ○岩国市社会福祉協議会のボランティアセンターに登録してみましょう。 ○自分ができるボランティア活動に参加してみましょう。
		4 地域内の交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の交流活動に気軽な気持ちで参加してみましょう。 ○地域の交流活動に隣近所の人を誘ってみましょう。
		5 地域間交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域間交流に積極的に参加し、地域間の交流を深めてみましょう。
		6 学校と地域との連携促進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事に参加してみましょう。 ○子どもが頑張っている姿を見てあげましょう。
		7 空き家や社会福祉施設などを活用した拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家や社会福祉施設など、地域で活動できる場所について探してみましょう。 ○小規模人数の集まりであれば、自宅を利用することについても検討してみましょう。
		8 地域の子どもを地域全体で育てる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつを心掛けましょう。 ○良いことをすれば褒めてあげましょう。悪いことをしていれば注意しましょう。
		9 交通弱者の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○なるべく乗り合わせて行くよう心掛けてみましょう。

地域全体で取り組むこと	行政が取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> ○経験豊富で活力がある人を地域の担い手として活用してみましよう。 ○地域の行事などの際は、地域の担い手となり得る人の意見を尊重しながら取り込んでいきましょう。 ○地域の担い手の発掘に努めましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉の人材育成を目的とした研修会を開催します。 ○地域福祉の実践者の経験を生かした人材育成支援に取り組みます。
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や定年退職者に声かけをしてみましよう。 ○地域の担い手につながる人材です。意見を尊重して、地域福祉に取り込んでみましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や定年退職者を対象に、地域貢献を通じた生きがいづくりを目的とする取り組みを行います。 ○ボランティアセンターを活用した相談体制の充実に取り組みます。
<ul style="list-style-type: none"> ○様々な方法によりボランティアの募集を呼びかけてみましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアセンターを活用したボランティア参加の促進に取り組みます。 ○ボランティアセンターを活用して、ボランティアの人材育成を支援します。 ○ボランティア休暇の促進に努めます。
<ul style="list-style-type: none"> ○回覧板や「i-area」などを利用して地域に積極的に広報しましよう。 ○子どもと高齢者を対象とした世代間交流など、様々な交流の場を企画してみましよう。 ○地域住民が顔を合わせることができる機会を増やしてみましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「i-area」を利用して積極的な広報活動を行います。 ○岩国市地域福祉基金を活用して、地域の交流機会の増加を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域間の交流を目的として、企画してみましよう。 ○地域同士の相互扶助により、地域福祉に取り組んでみましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域間の交流の機会を促進するため、交流会を開催します。 ○地域間交流の促進について啓発を行います。 ○岩国市地域福祉基金などを利用して、地域間交流を目的とした活動の支援を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを対象にした体験学習を開催し、直接体験できる機会を増やしてあげましよう。 ○子どもと高齢者を対象とした交流企画など、様々な交流の場を企画してみましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育を通じた地域福祉の推進を図ります。 ○空き教室などの活用を図ります。 ○子どもを犯罪などの被害から守るための活動を促進します。 ○岩国市地域福祉基金を活用して、学校と地域の連携を促進します。
<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉施設を活動場所として利用できるよう、事業者と話し合ってみましよう。 ○地域のイベントなどの際は、事業者はなるべく施設を開放するよう努めましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岩国市が所管する施設について、だれもが利用しやすくなるよう検討していきます。 ○福祉会館について、利用しやすいよう環境を整備します。 ○自治会館やコミュニティセンターなどの地域拠点を整備します。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の子どもに、地域の歴史や文化、良い所を教えてあげましよう。 ○福祉に関するイカルスを利用してみましよう。 ○地域での学習活動を積極的に支援して、地域で子どもを育てる機運を高めましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で安心して学校に通える環境づくりに取り組みます。 ○郷土の歴史や伝統、文化を後世に伝えるための環境整備、後継者育成を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域で交通弱者に対する対策について考えてみましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域にあった移動サービスを検討し、利用者の増加を図ります。 ○地域が主体となって取り組もうとする交通対策について、支援を行います。

基本理念	基本目標	課題	住民一人一人が心掛けること、 又は取り組むこと
だれもが住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会づくり	3 地域福祉の推進に取り組む団体への支援	1 岩国市社会福祉協議会の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○岩国市社会福祉協議会の活動内容について理解しましょう。 ○岩国市社会福祉協議会会員に登録して、社会福祉協議会の取り組みに参加してみましょう。 ○岩国市社会福祉協議会のボランティアセンターに登録してみましょう。 ○協同募金に協力しましょう。
		2 地区社会福祉協議会など地域福祉に取り組む団体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○地区社会福祉協議会など地域福祉に取り組む団体の活動内容について知りましょう。 ○地区社会福祉協議会などの団体が取り組む地域福祉活動に積極的に参加しましょう。
		3 自治会の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会に加入し、自治会活動に参加してみましょう。 ○自治会活動に家族や隣近所の住民と誘い合ってみましょう。
		4 民生委員・児童委員及び福祉員の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の地区の民生委員・児童委員及び福祉員を知っておきましょう。 ○民生委員・児童委員及び福祉員の取り組みについて理解し、協力しましょう。
		5 NPO や市民活動団体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO や市民活動団体が発信する情報を把握してみましょう。 ○市民活動講座に参加してみましょう。
		6 サロンの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○サロン活動に気軽に参加してみましょう。 ○サロン活動に隣近所の人を誘ってみましょう。 ○企画を提案してみましょう。

地域全体で取り組むこと	行政が取り組むこと
<ul style="list-style-type: none"> ○岩国市社会福祉協議会と連携し、地域福祉の取り組み強化を図りましょう。 ○共同募金の協力について、周知を図りましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岩国市社会福祉協議会の事業を支援することにより、社会福祉協議会の本来の目的である地域福祉の推進を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な広報活動により地域住民の参加を促進しましょう。 ○地域福祉に取り組む団体の設立を考えてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岩国市地域福祉基金を活用して、地域福祉の活動費に対する支援を行います。 ○地域福祉を担う人材の育成支援に取り組みます。 ○全市域で、地区社会福祉協議会のような地域福祉に取り組む団体の設立を支援します。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域全体で地域住民への加入促進に取り組みましょう。 ○小規模・高齢化集落などで活動が難しい集落については、近くの集落と協力してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○転居者や転入者に対し、自治会加入促進のチラシを配布します。 ○広報紙などで自治会の加入について啓発を行います。 ○活動が難しくなっている地区について、対策を検討します。
<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員・児童委員及び福祉員の取り組みについて、地域全体で協力していきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員・児童委員及び福祉員の活動について、広報紙などを利用して啓発を行います。 ○研修などにより、民生委員・児童委員及び福祉員のスキルアップを図ります。 ○民生委員・児童委員及び福祉員が働きやすい環境づくりについて、支援を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ○NPO や市民活動団体の取り組みについて、地域全体で協力して取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動を推進する組織体制を整備し、市民活動の充実を図ります。 ○岩国市地域福祉基金を活用して、市民活動の支援を行います。 ○NPO や市民活動団体との協働を推進します。
<ul style="list-style-type: none"> ○掲示板や回覧板などにより、サロン活動への参加を促進してみましょう。 ○サロンの担い手について、地域全体で考えてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉に関するイカルスの利用を促進します。 ○ふれあい補償制度の充実を図ります。

地域福祉計画の進行

計画の評価・推進体制

岩国市地域福祉計画を着実に推進するため、地域福祉に関する調査を実施し、市民意識の状況に基づいた取り組みの重点強化を図ります。また、それぞれの課題に対する達成状況を市民の視点から評価し、推進方法についての検討を行う「岩国市地域福祉計画評価推進委員会」を設置します。

計画の普及啓発

岩国市地域福祉計画の周知や取り組みについては、市ホームページ、岩国市地域福祉情報ネットワーク「i-area」などのインターネットサイトを利用するほか、岩国市社会福祉協議会などの団体を通じて情報を公開し、市民や関係する団体への普及啓発を図ります。



計画を進行するために

地域福祉は、住み慣れた地域で市民一人一人が生き生きと暮らすための取り組みです。地域福祉に取り組むためには、まずは市民一人一人が福祉に対する意識を高め、地域の一員であることの意識を持つことが重要です。

地域福祉に取り組む団体は、地域福祉の中心として重要な役割を担います。団体が円滑に自主運営できるよう、常に創意工夫して取り組むことが求められます。また、地域福祉に取り組む上でのニーズがあれば、市など関係する機関に提言を行うことも求められます。

行政は、岩国市地域福祉計画を進行するため、様々なニーズに対応していくための知恵を出し、行政機関としての助言を行うことや制度化を図ることで責務をはたしていきます。

また、市民参加型の協働による地域福祉の環境づくりを進めていながら、地域福祉の輪を広げていきます。

